

バイヤーが「菊池水田ごぼう」を視察

「菊池水田ごぼう」の生産現場視察に1月31日、ディスカウントスーパーの青果バイヤーら3人が訪れました。ゴボウの収穫作業、選別作業など出荷までの一連の作業を見学。ゴボウ販売担当者と生産者がゴボウへの思いを伝え、意見交換しました。

オーケー株式会社青果バイヤーの柏木真人さんは「水田で栽培されるゴボウの味わいやおいしさを知ることができた。出荷までの苦労もわかり、大切に販売していきたい」「販売現場では、生産の苦労、理解、食育にもつながるような取り組みも考えたい」と話しました。

バイヤーの視察は初めてで、冬ゴボウ出荷と春ゴボウの栽培管理なども見てもらい、生産者の苦労を伝えることができました。現場への理解を進めながら、有利販売につなげていきます。



葱部会



白ネギ試食販売会

葱(ねぎ)部会は市場と協力して1月24日、熊本市の鮮ど市場本店で試食販売会を開きおいしい食べ方などを伝えました。ごま油で焼いた白ネギを試食したお客様は「甘味を感じる。とてもおいしい」と買い求め、一日で約300袋を販売できました。白ネギは、鍋以外にも天ぷらがオススメです。たくさん食べて寒い時期を乗り越えてください。

スイートコーン部会

作付け間近の栽培講習会

2月上旬にの種まきを目前にした1月31日、菊陽中央支所で栽培講習会を開きました。矢野圭介部会長が「天候変動により栽培が難しくなっている。しっかり勉強し、意見交換をしながら品質の良いものを作っていこう」とあいさつ。種苗会社より種の特徴や栽培管理、病害虫の防除対策などを学びました。



中学生がエンターテイメントで農業楽しむ

佐賀学園早稲田佐賀中学校の2年生140人が1月30日、探求学習の一環で菊池市を訪れました。テーマは「地方創生」。第一次産業の農業と自然を体験するために選んだのが菊池で、温泉街の散策や近隣の企業見学も行いました。農業体験では、段ボールキャタピラや古タイヤを使った麦踏みも、チーム対抗の競技で楽しみながら行いました。農業者による講話や農食クイズ、焚火体験などもあり、生徒らは農業を通して自然との触れ合いを楽しみました。『私農耕SHOW』チーム農タメのパフォーマー担当の宮海彦さんは「中学生の受け入れは初めてで、企画や準備にも時間と手間がかかったが、しっかり楽しんでくれた。将来、農業や農に関わる仕事に携わったり、自然を思いやる人になってくれたらうれしい」と熱く語りました。引率した迎佳和副校長は「とても良い体験学習となった。来年も是非連れてきたい」と笑顔でした。



JA所有の竹林整備 畜産部職員奮闘

JA菊池がCBS近くに所有する竹林の整備を12月と1月に行いました。畜産部職員が協力して奮闘。今回は、熊本の自衛隊からも協力があって大変はかどりました。

